

市民向け講演会を開催します

健康福祉課障害福祉係 TEL 25-1183

鳥羽市社会福祉協議会 TEL 25-1188

もしも、自分や家族の判断能力が低下してしまったら——。判断力の低下は、年齢や病気などによって誰にでも起こりうることです。預貯金の管理、契約の締結、行政手続きや相続など、生活の中には判断力が必要な場面が数多くあります。「家族がいるから大丈夫」と思っていませんか？ 実は、“本人”でなければできない手続きもたくさんあるのです。そんな“もしも”のときに備えて、「成年後見制度」について一緒に学んでみませんか？ 制度の仕組みや活用方法を、分かりやすく紹介します。

ものがたりでわかる成年後見制度

～身近な事例を挙げて成年後見制度の光と闇を語ります～

と き 11月5日(水) 午後1時30分～3時30分

と ころ 保健福祉センターひだまり2階・ひだまりホール

定 員 50人

講演内容

成年後見制度でなければ解決できない問題、そして制度を利用したことで思わぬ不利益を受けた事例など、さまざまな事例をもとに制度の現実を分かりやすくお話しします。講師は、豊富な経験とユーモアあふれる語り口で定評のある渡辺先生。制度のメリット・デメリットを知り、“いざという時”に備えるためのヒントが満載の講演です。

申込・問い合わせ先

鳥羽市成年後見サポートセンターぬくもり

社会福祉法人 鳥羽市社会福祉協議会 TEL 25-1188 FAX 25-1117

講師紹介

渡辺 哲雄 氏

(日本福祉大学中央福祉
専門学校特別顧問・作家)



1994年から12年間、中日新聞生活欄に小説「老いの風景」を連載。その他、「認知症 ストーリー・ケア」、「ものがたりでわかる成年後見制度」、「リスク 反転の構図」など著書多数。現在、菰野町社会福祉協議会法人後見委員会副委員長・大府市成年後見制度審議会会長・岡崎市成年後見制度利用促進審議会会長を務めています。

そこで令和6年度から、旅館「扇芳閣」とカフェ「MUSEA」のご協力のもと、「温泉ついでに健康増進」と題した取り組みを行っています。不定期開催ではありますが、今年7月には第4回を開催し、市内の60～80代を中心に18人が参加しました。今回は従来の筋力トレーニング(とばらんす運動)に加え、地域に根ざす旅館の5代目の案内で、一緒に館内を巡るウォーキングを新たに実施。地下から5階まで階段で移動し、リニューアルしたスイートルームやテラス、

介護予防の運動というところ、体操教室や筋力トレーニングを思い浮かべるかたが多いかもしれませんが、しかし、もっと気軽に、暮らしの中で楽しみながら行える「運動の場」づくりが必要だと感じています。

キーワード
#日常の延長線上で
#介護予防



キッズスペースなどを見学しました。参加者からは「昔ここで宴会をしたなあ」と懐かしむ声などもあがり、思い出話にも花が咲きました。館内を歩き、階段昇降を交えた移動は、まさに介護予防の時間そのもの。運動後には温泉やカフェドリンクで一息つき、日常の延長線上にある身近な「ちよつと特別な時間」にもなりました。こうした場が、運動習慣づくりの大きなきっかけになると感じます。今後もしこうした取り組みが広がり、買い物や食事、観光などほかの日常の場面と自然に結びついていけば、まち全体がもっと元気になるのかもしれない。次はあなたも日常の「ついでに」一緒に体を動かしてみませんか？

とばびと
活躍
プロジェクト

トバゴト

健康福祉課長寿介護係
(生活支援コーディネーター 杉浦徹)

Vol.36

TEL 25-1186



トバゴトQRコード